

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・ビジネス情報	科目：	企業会計Ⅱ	単位数：	2	指導学年：	2
使用教科書	新財務会計Ⅰ（実教出版）		副教材	反復式学習と検定財務会計Ⅰ問題集（実教出版）			

年間指導目標：

- ・財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ・企業会計に関する法規と会計基準を学び、ビジネスに携わる者として、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- ・会計責任を果たす力を学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	商業の見方・考え方を働かせ、実践的な学習活動を行うなかで企業会計に関する知識と技能を身に付けている。	ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。	適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規 第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし 第4章 資産の意味・分類・評価	(知)	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計の基礎的な知識を身に付けている。 ・企業会計制度と会計法規、会計基準との関係を身に付け、会社法と会社計算規則、金融商品取引法と財務諸表等規則、企業会計原則など会計諸則の実際の規定を検索し、利用することができる。 ・資産の評価基準について、その内容を理解し、習得することができる。 ・当座資産とその評価について、その内容を理解し、会計処理を習得している。 	○					12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> ・会計を学ぶことの意義と必要性を考えようとしている。 ・企業会計制度のしくみについてそれぞれの意義や必要性を考慮することができる。 ・それぞれの資産について、どういう特徴を持つかなどを考え、分類と評価にあたり適切な判断ができる。 ・当座資産の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できる。 			○			
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業会計の制度とそれを支える会計諸則について関心を持ち、その学習を積極的に進めようとしている。 ・資産の分類と評価の理解に関心を高めその学習を積極的に進めようとしている。 ・当座資産の意味と種類に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしている。 					○	

1 学期	期 末 考 査	第5章 流動資産（その2 棚卸資産・その他の流動資産） 第6章 固定資産（その1 有形固定資産） 第7章 固定資産（その2 リース取引） 第8章 固定資産（その3 減価償却） 第9章 固定資産（その4 無形固定資産） 第10章 固定資産（その5 投資その他の資産）	(知)	・資産の区分について、流動性のあるものや長期にわたって動かないものの区別や会計処理に仕方について理解している。 ・固定資産について、有形・無形の区別やリース取引、減価償却、特許権・商標権など権利の資産など固定資産の区分や種類を理解している。 ・その他の資産についても、理解し会計処理を行うことができる。	○							12
			(思)	・固定資産について、無形固定資産・有形固定資産の区分とそれぞれの特徴や意味について自ら考えて区分することができる。				○				
			(態)	・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。							○	
2 学期	中 間 考 査	負債について 第11章 流動負債 第12章 固定負債 第13章 純資産の意味と分類	(知)	・負債について、流動負債と固定負債に区分することができる。 ・流動負債・固定負債の取引を理解し、会計処理を行うことができる。	○							
			(思)	・資本金や資本剰余金、利益剰余金について、その用途を理解するとともに、どのような働きがあるのかを考えることができる。 ・繰越利益剰余金など分配するカテゴリーを考えて会計処理を行う。					○			
			(態)	・負債や純資産について、企業のお金の流れを理解している。							○	
2 学期	期 末 考 査	第14章 資本金 第15章 資本剰余金 第16章 利益準備金 第17章 自己株式 第18章 貸借対照表の作成 第19章 損益計算書のあらまし 第20章 損益計算の意味と基準 第21章 売上高 第22章 売上原価・販売費及び 一般管理費 第23章 営業外収益・営業外費用 第24章 特別利益・特別損失 第25章 損益計算書の作成 第26章 その他の財務諸表	(知)	・今までの取引を踏まえて、貸借対照表の作成を行うことができる。 ・今までの取引を踏まえて、損益計算書の作成を行うことができる。	○							
			(思)	・貸借対照表・損益計算書の作成をする意味を理解し、作成したもので経営状態を考えることができる。					○			
			(態)	・作成したもので企業の財政状態を理解しようとしている。							○	
3 学期	学 年 末 考 査	第27章 財務諸表のディス クロージャー 第28章 財務諸表分析 第29章 連結財務諸表のあら まし 第30章 連結財務諸表の作成 第31章 連結財務諸表の作成	(知)	・財務諸表を分析して、企業状態を理解することができる。 ・今までの復習を行い、理解できていない部分を補うことができる。	○							
			(思)	・財務諸表の作成し、会計の流れを理解することを考えている。					○			
			(態)	・学習に対して積極的に取り組む姿勢がみられる。 ・会計全体の流れをしっかりと理解しようとしている。							○	
											合計	78